



色鉛筆で描く彼岸と日常

吉村芳生展 2013 4/6(土) → 5/25(土)

初日は午後2時よりオープニングセレモニーを行います。



Kami City Art Museum
香美市立美術館

〒782-0041 高知県香美市土佐山田町262-1
TEL.0887-53-5110 FAX.0887-53-5498

開館時間:午前9時～午後5時(入館は4時30分まで) 休館日:毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)
入場料:一般 500円(20名以上団体料金250円)、長寿手帳提示 250円、身体障害者手帳提示 無料、高校生以下 無料

主催:香美市立美術館 協力:みぞえ画廊

後援:高知新聞社・朝日新聞高知総局・毎日新聞高知支局・読売新聞高知支局・NHK高知放送局・RKC高知放送・KUTVテレビ高知
KSSさんさんテレビ・エフエム高知・高知シティFM放送・KCB高知ケーブルテレビ・KCTV香南ケーブルテレビ

吉村芳生ギャラリートーク

4月6日(土) 14:30～ 場所:展示室 入場料要

色鉛筆画教室 講師:吉村 芳生

4月7日(日) 10:00～12:00 場所:美術館アトリエ 参加料:1人 500円 定員:20名

色鉛筆持参 事前申込要(3月28日(木)より、申込開始)

館長または学芸員による作品解説

会期中毎日曜日 14:00～ 場所:展示室 入場料要



吉村芳生は、山口県の徳地に住み、鉛筆を表現手段として制作を続けてきました。吉村は修行僧のように鉛筆で規則的に細かいマス目を埋めていく作業によって、作品を生み出しています。

描かれた花々は、写実表現の限界を超えて眩しくひかり輝き、それはまるでこの世のものではないかのような妖気さえ漂わせています。現実の描写であるはずの花々が、あたかも極楽浄土に咲く花々のように眼前に現れてきて、私たちは美しく咲き誇る花々の先に未知なる浄土「あの世」が見えてくることに気付かされます。

一方で、吉村は毎日発行される新聞の第一面に、その日の自画像を重ね、新聞紙まるごと一字一句手作業で写し取る作品を制作しています。様々な出来事を報道する新聞は、日々、刻々と変化する「日常」そのものですが、そこに描かれる自画像も生命体である限り、変貌し続けています。

吉村は新聞紙面に現れる過酷な世界の現実と、永遠の美が存在する彼岸に咲く花々を対比させることにより、世界の深層を指し示しています。

今回、パリに滞在して、フランスの新聞をベースに自画像を描いた作品が展示されます。吉村が冬のパリで沈みがちになる気持ちを奮い起こして取り組んだ1,000枚の作品は、孤独と苦しみの監獄の中での苦行であり、成果であるといえます。この困難に立ち向かって達成された作品を、ぜひご覧いただきたいと思います。

都築房子(つづき ふさこ/香美市立美術館 館長)



徳地に住んで見えてくるもの 162cm×336cm



ケン 162cm×112cm



パリの自画像 41cm×28cm

主な展覧会歴

- 1977 現代日本美術展(東京都美術館 他)
- 1978 シェル美術賞展 佳作賞(東京セントラル美術館 他)
- 1979 ジャパンアートフェスティバル(ポーランド 他)
- イギリス国際版画ビエンナーレ アーガス賞(イギリス・ブラッドフォード美術館)
- 1981 世界の現代版画25年展(東京都美術館 他)
- 明日への造形“変換と差異—複製技術社会の中で”(福岡市美術館)
- 1982 マイアミ国際版画ビエンナーレ メリット賞(フロリダ メトロポリタン美術館)
- 1983 現代のリアリズム(埼玉県立近代美術館)
- 1984 小林和作賞受賞
- 1985 現代のセルフポートレート展(埼玉県立近代美術館)
- 1991 個展「730日の自画像」(下関市立美術館)
- 2000 雪舟グランプリますだ 特別優秀賞(益田市)
- 2005 中国国際アートフェア(北京)
- 2006 韓国国際アートフェア(ソウル)
- 2007 個展「色鉛筆で描く花の世界」(高知県香美市立美術館)
- 六本木クロッシング2007: 未来への脈動(東京・森美術館)
- 山口県美術展 大賞(山口県立美術館)
- 2008 山口県美術展特別展示「ケンと自画像を描き続けた日々」(山口県立美術館)
- 2009 個展「煉獄の茶室」(山口県立萩美術館) 和風展示室
- 現代絵画の展望・12人の地平線(東京ステーションギャラリー)
- 一人快芸術(広島市現代美術館)
- 2010 個展「とがった鉛筆で日々をうつづける私」(山口県立美術館)
- 2011 個展「3.11から」新聞と自画像(東京・ギャラリー川船)
- 2012 アートフェア東京(東京国際フォーラム)

吉村芳生 略歴

- 1950 山口県防府市に生まれる
- 1971 山口芸術短期大学卒業
- 1979 創形美術学校卒業
- 2011 シテ・インターナショナル・デザール・パリに1年間滞在

作品収蔵

- 東京都現代美術館
- 山口県立美術館
- 東広島市美術館
- ベルギー文科学
- 山口県庁
- 小部文化資料館
- 益田市
- 東京ステーションギャラリー 他



パリの自画像 41cm×28cm



未知なる世界からの視点 2m×10m